作成·更新日 令和6年8月9日

事業名	名 佐野斎場改修事業費		実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報									
	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	衛生施設室		- 佐野斎場改修事業 :	予算	款	4	新規or継続	新規	事業
	係			[[红]] 网络以他争来	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	8	義務or任意	任意的	り事業
以 東 144 糸	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度	R5	実施方法	直	営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり	_	期間	終了年度		事業分類	施設維持	管理事業

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

佐野斎場の火葬設備等の機能を維持するために適切な改修を行う。

2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全

(2)目的

事業概要

効果指標 単位 R3 R4 R5 R6 R7 目的 修繕件数(大規模な故障) 件 0 0 (本事業に 施設開場が出来なかった日数 日 0 0 0 佐野斎場の安定した稼働を維持し、継続的な運営を実施する。 よって成し 佐野斎場火葬停止件数 件 0 0 0 遂げたい 状態)

(3)目標値

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

					**	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容)	佐野斎場の火葬設備等の機能維持に伴う工事請負費 -佐野斎場火葬炉耐火レンガ全体積替等工事	佐野斎場の開場日数	日	302	302	303
		佐野斎場火葬件数	件	1,513	1,652	1,466
	・佐野斎場銘板等修繕工事 「内容」佐野斎場入口銘板ステンレス板貼付、コーキング打直し等					
	事業費については、令和5年9月まで佐野地区衛生施設組合で	事業費計	千円			11,604
		一般財源	千円			11,604
	運営していたため、予算構成が佐野市と違うことより令和3年度、4年度は未記入、令和5年度は10月からの半年分を記入。	特定財源(国·県·他)	千円			
	1 / Allow 1 (18 / 18 / 18 / 18 / 18 / 18 / 18 / 1	(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

大規模な故障等による稼働停止も無く、安定した稼働を維持し、継 続的な運営が出来ている。

	(コ)子来が木と助わりの数	₩ X23/ (U C CV)					
	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	修繕件数(大規模な故障)	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
継	施設開場が出来なかった日数	日	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
	佐野斎場火葬停止件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
が田	効果が上がった指標数	0指標
効果	効果は変わらない指標数	3指標
(R5とR4の *に無法:は、)	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した		\circ	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

|火葬場は市民生活に必要不可欠な施設であり、災害時を含め、その機能を絶えず安定的に維持していく必要があり、引き続き、施設の状態を確認しながら運営管理に努める。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	---------	------	--------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

」 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

引き続き、火葬炉設備など重要な設備に関して、年次計画をたて、耐火物の交換等の工事や 定期的な補修工事を行い、設備や建物の状態、今後の火葬状況の推移を注視していく。

仕事の作りだり

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

1工事	の振り	ル区リン	ノート(令和5年度	美地分)			作	或・更新日	令和6	年8月2日
事業名	公衆トイ	レ維持管理	理事業	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約		総合戦略	該当なし
. +-	±+n			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	市民生活部		予算中事業名		会計	— <u>與</u> 几	事業計画	単年度	経り近し
	課	環境政策課			予算			新規or継続		事業
3	係			- 公衆トイレ維持管理事業費	科目		1	市単独or国県補助		虫事業
	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意		り事業
办经什么	基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり			事業	開始年度	S45	実施方法	一部	委託	
政策体系	政策	1	環境にやさしいまちづくり		期間	終了年度	_	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全				•		Į.	
	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要									
事業概要	駅南公衆ト	〜イレ、唐沢山	ポケットパーク公衆トイレの維持管理							
(2)目的	勺			(3)目標値						
E + -				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				公衆トイレ数	件	2	2	2	2	2
(本事業によって成し	/ 公衆トイレの	の適切な維持	· ·管理	業務委託契約数	件	2	2	2	2	2
遂げたい		37 C 43 G (14) 5								
状態)										
	ļ					<u> </u>				
3. 前年原 (1)活動		舌動及び費用	月対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	- ータ及び 単位	ド事業費の R3	推移 R4	R5]	
				公衆トイレ数	件	2	2	2	1	
ンプチレーウクま	• 駅南小衆	トイレ、唐沢ロ	しポケットパーク公衆トイレの清掃業務委	業務委託契約数	件	2	2	2		
活動実績	・駅南公衆トイレ、唐沢山ポケットパーク公衆トイレの清掃業務委託の管理監督 ・駅南公衆トイレの上下水道料、電気料等の支払い ・唐沢山ポケットパーク公衆トイレの浄化槽保守点検等の実施									
行った主な活					тm	1 207	1 261	1 117	İ	
動内容)				事業費計 	千円	1,207	1,261	1,117		
	/ш//ш//	,,,,,,,,,		一般財源	千円	1,207	1,261	1,117		
				特定財源(国·県·他)	千円					
									ł	
				(うち受益者負担)	千円]	
(3)活動	動による効果			(4) 事業効果を説明する数	は値デー	タの推移			↓選択して	て下さい
(0) /112	33,00,00,00,00	<u> </u>		効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
				公衆トイレ数	件	2	2	2		
効果説明	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	か,安九コキ/6代++	- Ж Т	業務委託契約数	件	2	2	2		
(定量及び 定性)	公來 ト1 レ0	の適切な維持	FEI理							
EIL)										
(5)春日	日がか里結り	果(自動判定	⊵)							
,	られるの一般		費用は下がった	※10万円以上の増減により判断				効果]
	対果が上が		0指標	X 1 0731 3X 1 37-11-MICO 7 1341			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わ	らない指標数	0指標		費	費用は下がった		0		
指標值増減)	効果が下が	いた指標数 指標全体	0指標 効果は変わらない		用	費用の増減無し				
		1日/水工 竹	が来ば交がりない			ALIMA AMOR				J
	度に向けた検 115年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果に	句上のための	の課題			
現状維持の	Dため、特にな	ぶし 。								
(2) F≣	7万省占及7	/ 汽果語を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組				_	_	_	_
(4) 上市	心人 日ボ火(元の、17日の十一文人の17日 / 十一文の外刊	取組説明						
П	事業の在り	方検討 (廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	AMETINO.41	ļ					
	事業効果を	上げるための	事務改善の検討							

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)						成・更新日	令和6	年8月2日		
事業名	自動車馬	蛋音常時監	視面的評価事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし		コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情										
	部	市民生活部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
担当組織	課	環境政策課		 自動車騒音常時監視面的評価事業	予算	款		新規or継続	継続	
	係	環境係 612	27 Th	根拠法令、条例等	科目	項 目	1	市単独or国県補助		虫事業 内事業
	体系コード	_	名称	依拠法节、余例寺 	事業		_	義務or任意		ッチ来 <u></u> 委託
政策体系	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり			開始年度		実施方法		
	政策 施策		環境にやさしいまちづくり 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全		期間	終了年度	_	事業分類	検査・調	且事務
	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要									
(2)目的	<u>।</u>			(3)目標値						
(4) 🖽				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				面的評価点数	件	9	9	9	9	9
(本事業に	白新市取工	エのしのは事	こ与える影響を低減させる。	自動車騒音の環境基準達成率	%	100	100	100	100	100
よって成し 遂げたい	田 野 早 瀬 日	ヨの人の性塚(こせんのが舞び尾点のではる。	騒音や振動が気になる市民の数	%	26.5	25.5	24.5	23.5	22.5
状態)										
3. 前年 原(1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ		が事業費の 1	推移		1	
	市内の主要幹線道路において、自動車騒音の常時監視面的評価			活動指標 	単位	R3	R4	R5		
				評価距離 km 3:		33.1	47.9	43.5		
				面的評価点数	件	9	9	13		
活動実績 (R5年度に										
行った主な活動内容)				事業費計	千円	1,705	1,705	1,804		
				一般財源	千円	1,705	1,705	1,804		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	<u></u> 動による効果			└────────────────────────────────────	(値デー	タの推移			」 ↓選択して	下さい
(2) / (1)				効果指標	単位	R3	R4	R5	1	R4とR5の比較
** EE = ** ID				面的評価点数	件	11	9	13		
効果説明(定量及び	白動車騒音	きを監視するご	とにより、良好な生活環境が維持される。	自動車騒音の環境基準達成率	%	95.3	95.2	91.8	値が大きいほど良い	効果が下がった
定性)		3 C III 1/1 3 C	こにも人民対る工口水光が限りこれる。	騒音や振動が気になる市民の数	%	24.5	25.5	22.5	値が小さいほど良い	効果が上がった
									ļ	
		果(自動判定		1						1
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果	Lumin	
効果	効果が上が効果は変わ	った指標数 らない指標数	1指標 0指標		走	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)		った指標数	1指標		費 用	費用の増減無し		0		
1日保旧相似)		指標全体	効果は変わらない	l	ЛÜ	費用が増加した				
	度に向けた検 115年度の		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果に	句上のための	の課題			

現状維持のため、特になし。	
近1人推行りため、付になし。	

(2)	トシロタムなが無頭を効まった	今和6年度及び今和7年度の取組	а

事業の在り方検討	(家止	休止	再編成	受益者負担の目直しかり)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組 説明		
	•	

作成•更新日 令和6年8月9日

事業名 | 火葬場指定管理事業費 | 実施計画事業or一般事業 | 一般事業 | 市長公約 | 該当なし | 総合戦略 | 該当なし | 施策横断的な取組との関連性 | SDGs | 該当なし | コンパクトシティ | 該当なし | スマートシティ | 該当なし

1. 基本情報

		部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	衛生施設室		火葬場指定管理事業	予算	款	4	新規or継続	新規事業
		係			一		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	8	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	墓地埋葬等に関する法律、佐野	事業	開始年度	R5	実施方法	指定管理者
	TX XX ITVIN	政策	1	水光に下こしいなりノバ	市火葬場条例、佐野市火葬場	期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全	条例施行規則					

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 |火葬場(佐野斎場、葛生火葬場)の設置目的をより効率的・効果的に達成し、市民サービスの向上を図るため指定管理者による運営管理を行う。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	火葬場(佐野斎場及び葛生火葬場)の施設を指定管理者により、市民サービスの向上を図る。 佐宮営管理により、市民サービスの向上を図る。	苦情件数	件			0	0	0
(本事業に		施設開場が出来なかった日数	日			0	0	0
よって成し 遂げたい		佐野斎場火葬停止件数	件			0	0	0
状態)		葛生火葬場火葬停止件数	件			0	0	0
,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	・佐野斎場及び葛生火葬場の指定管理者	活動指標	単位	R3	R4	R5
	: 五輪・日本環境整備・環境整備グループ	火葬場の開場日数	日	302	302	303
	火葬に関する業務、火葬場内の施設の提供に関する業務 霊柩自動車の運行に関する業務	2施設の火葬件数	件	2,105	2,330	2,076
活動実績 (R5年度に	火葬場の利用の許可に関する業務					
行った主な活動内容)	次数場の肌は及び外による側の流はまによります。	事業費計	千円			44,642
#JP 11 11 7		一般財源	千円			44,624
	事業費については、令和5年9月まで佐野地区衛生施設組合 で運営していたため、予算構成が佐野市と違うことより令和3年	特定財源(国·県·他)	千円			18
	度、4年度は未記入、令和5年度は10月からの半年分を記入。	(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
**********			苦情件数	件	1	6	1	値が小さいほど良い	効果が上がった
効果説明	・火葬場(佐野斎場及び葛生火葬場)われている。		施設開場が出来なかった日数	П	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
(定量及び 定性)			佐野斎場火葬停止件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
ÆIL)			葛生火葬場火葬停止件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
か田	効果が上がった指標数	1指標
効果	効果は変わらない指標数	3指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した		\circ	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

火葬場は人生の終焉を迎えたときに、最後にただ一度だけ提供される究極の行政サービスであり、引き続き、火葬場が持つべき「別れの場」「葬送の場」となるよう、内部空間や 周辺環境にも配慮し、利用者や市民の方々にも満足感を与える施設となるよう運営管理に努める。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成	、受益者負担の見直しなど)
--	----------	------------	---------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

今回の指定期間(令和3年4月1日~令和8年3月31日)内である令和6年度及び令和7年度も引き続き指定管理者による運営管理を実施する。令和7年度においては、指定管理者の再選定となるため、再選定に向け準備する。

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名 | 葛生火葬場改修事業費 | 実施計画事業or一般事業 | 一般事業 | 市長公約 | 該当なし | 総合戦略 | 該当なし | 施策横断的な取組との関連性 | SDGs | 該当なし | コンパクトシティ | 該当なし | スマートシティ | 該当なし

1. 基本情報

	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	衛生施設室		葛生火葬場改修事業	予算	款	4	新規or継続	新規事業
	係			有主人幹場以修事来 	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	8	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり	_	期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 葛生火葬場の火葬設備等の機能を維持するために適切な改修を行う。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		修繕件数(大規模な故障)	件			0	0	0
(本事業に		施設開場が出来なかった日数	日			0	0	0
よって成し 遂げたい	葛生火葬場の安定した稼働を維持し、継続的な運営を実施する。 	葛生火葬場火葬停止件数	件			0	0	0
状態)								
<i>2.76</i> ()								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	 葛生火葬場の火葬設備等の機能維持に伴う工事請負費	活動指標	単位	R3	R4	R5
	·葛生火葬場火葬設備修繕工事 8,030千円	葛生火葬場の開場日数	П	302	302	303
\7.51 ch/s	[内容]ろ号炉炉内セラミック全面貼替 炉内枢台車耐火物交換	葛生火葬場火葬件数	件	592	678	610
活動実績 (R5年度に	再燃炉及び排気筒更新					
行った主な活動内容)		事業費計	千円			8,030
∌ J/ 3 C/	事業費については、令和5年9月まで佐野地区衛生施設組合 で運営していたため、予算構成が佐野市と違うことより令和3年	一般財源	千円			8,030
	度、4年度は未記入、令和5年度は10月からの半年分を記入。	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

Ī		明大規模な故障等による稼働停止も無く、安定した稼働を維持し、 が	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1	** en =× no		修繕件数(大規模な故障)	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
	効果説明 /宮見なび		施設開場が出来なかった日数	日	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
	(定量及び 定性)		葛生火葬場火葬停止件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
ÆIL)									
				·					

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
か田	効果が上がった指標数	0指標
効果	効果は変わらない指標数	3指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した		\circ	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

火葬場は市民生活に必要不可欠な施設であり、災害時を含め、その機能を絶えず安定的に維持していく必要があり、引き続き、施設の状態を確認しながら運営管理に努め る。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、	休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	------	-----	------	--------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

引き続き、火葬炉設備など重要な設備に関して、年次計画をたて、耐火物の交換等の工事や 定期的な補修工事を行い、設備や建物の状態、今後の火葬状況の推移を注視していく。

作成・更新日 令和6年8月2日

 事業名
 狂犬病予防事業
 実施計画事業or一般事業
 一般事業
 市長公約
 該当なし
 総合戦略
 該当なし

 1. 基本情報

		部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	環境政策課		狂犬病予防事業費	予算	款	4	新規or継続	継続事業
		係	環境係		在人物 7 的争来真		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	義務的事業
		基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり			開始年度	H17	実施方法	一部委託
		政策	1	環境にやさしいまちづくり	狂犬病予防法 其	期間	終了年度	1	事業分類	健診·予防事業
		施策	2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全							

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 | 狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上を図る。また、犬の正しい飼い方の啓発を行うことにより、人と動物の調和のとれた地域社会の実現を図る。

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	 飼い主に狂犬病予防注射を受けさせ、狂犬病の感染を防止する。	飼い犬の登録	件	5,643	5,459	5,435	5,435	5,435
(本事業に		狂犬病予防注射数(全体)	件	3,950	3,821	3,859	3,913	3,967
よって成し 遂げたい	別い土に狂人柄プリの注射を支げさせ、狂人柄の恩案を防止する。	狂犬病の犬の数/登録している犬の数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
状態)		予防注射数/登録している犬の数	%	70.0	70.0	71.0	72.0	73.0
		飼い犬等のふんに関する苦情、相談件数	件	14	13	12	11	10

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/11	50大快		7720	于未只约	エリン	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		飼い犬の新規登録	件	379	405	411
\T = \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	活動実績 ・随時、飼い犬の新規登録を行い、鑑札を交付した。 (R5年度に ・4月、10月に集合注射を行い、注射済票を交付した。 ラった主な活 ・「正しい犬の飼い方強調月間(10月)」、「正しい猫の飼い方推	集合注射における狂犬病予防注射数	件	1,477	1,525	1,535
活動美績 (R5年度に						
行った主な活動内容)		事業費計	千円	1,499	1,488	1,502
類P9台) 進月間(2月「	進月間(2月中)」にペットの適正な飼養等の啓発を行った。	一般財源	千円	0	0	0
		特定財源(国·県·他)	千円	1,499	1,488	1,502
		(うち受益者負担)	千円	1,499	1,488	1,502

(3)活動による効果 (4)事業効果を説明する数値データの推移
→ 選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
++ cm =+ nn	効果説明 (定量及び 定性) ・狂犬病予防注射をしている犬の割合が増加する。 ・飼い犬等のふんに関する苦情、相談が減る。	飼い犬の登録	件	5,643	5,459	5,435		
		狂犬病予防注射数(全体)	件	3,790	3,822	3,775		
`		狂犬病の犬の数/登録している犬の数	%	0.0	0.0	0.0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
X-11-)		予防注射数/登録している犬の数	%	67.2	70.0	69.5	値が大きいほど良い	効果が下がった
		飼い犬等のふんに関する苦情、相談件数	件	11	15	12	値が小さいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5とR4の一般財源増減)		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果	
効果	効果が上がった指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費	費用は下がった			
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標			費用の増減無し		0	
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

室内でのみ犬を飼う人が増加し、登録や注射の必要性を認識していない人が増えていると考えられる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

広報紙への集合注射の記事の掲載や案内はがきの送付を引き続き行い、狂犬病予防注射の 接種率の向上を図る。

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成·更新日 令和6年8月2日 事業名 市営墓地維持管理事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 一般事業 実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 市民生活部 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 一般 事業計画 担当組織 課 環境政策課 予算 款 4 新規or継続 継続事業 市営墓地維持管理事業 環境係 科目 項 1 市単独or国県補助 市単独事業 係 根拠法令、条例等 5 義務or任意 任意的事業 体系コード 612 名称 目 一部委託 基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり 事業 開始年度 S53 実施方法 政策体系 佐野市市営墓地条例、佐野 期間終了年度 事業分類 施設維持管理事業 政策 1 環境にやさしいまちづくり 市市営墓地条例施行規則 施策 2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 事業概要 市営多田墓地(370区画)及び葛生墓地(118区画)の利用許可及び維持管理 (2)目的 (3)目標値 単位 R3 R4 R5 R6 R7 効果指標 日的 墓地利用許可者数 481 484 485 488 488 (本事業に 市が許可した利用者が、市営墓地を利用できるよう管理する。 墓地内の通路等の草刈り 3 3 3 3 3 よって成し 市営墓地の適切な維持管理を行う。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (2) 活動を説明する粉値デーな及び車業費の推移 (1) 活動宝繕

(エノ)凸里	加夫 楨	(2) 活動を説明9る数値ナータ及び事業員の推移					
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
NT #LICHOID	新規貸出区画数	区画	3	2	2		
	墓地内の通路等の草刈り		3	3	3		
活動実績 (R5年度に	効実績 _{年度に} 利用者の募集、利用許可、管理手数料の徴収						
行った主な活動内容)	承継者の調査、水道料の支払い、清掃業務の委託等	事業費計	千円	1,272	1,276	1,534	
期(2)合)		一般財源	千円				
		特定財源(国·県·他)	千円	1,272	1,276	1,534	
		(うち受益者負担)	千円	1,272	1,276	1,534	

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

	効果説明 市が許可した利用者が、市営墓地を利用することができる。 古学草地が適切に維持管理される	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
*******		墓地利用許可者数	件	487	484	482	値が大きいほど良い	効果が下がった
		墓地内の通路等の草刈り		3	3	3	値が大きいほど良い	効果は変わらない
定量及(
ACIL)								
			·					

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

墓地の管理手数料の未納状況について、改善が図れていない。また、利用許可の承継がすみやかに行われないなどの事例が発生している。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、位	木止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	-------	-----	------	--------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

ᄪᅲᄼ	ᄧᇚ
HVAD	ᄗᄱᄜ

墓地の管理手数料の未納者へ、引き続き督促を行う。

尹未仁	水質保全	全事業		実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	•			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当な
基本				1		1				
コンレクロをか	部	市民生活部		予算中事業名		会計		事業計画		繰り返し -
当組織	課	環境政策課		水質保全事業		款		新規or継続 市単独or国県補助		事業 虫事業
	係 体系コード	環境係 612	名称	根拠法令、条例等	科目	項 目	1	義務or任意		出争来 内事業
	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	加速 1、木内寺	事業	開始年度		実施方法		多託 委託
牧策体系	政策		環境にやさしいまちづくり	水質汚濁防止法、佐野市環		終了年度	302	事業分類	検査・調	
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全	境基本条例	7431=3	心了千皮		于未力及	IVE III	一一一
2. 事業 (1) 事業 (1) 事業 事業概要	美概要 		画期間内) 目標値 (通常調査・精密調査) 及び市内の調査	s井戸における地下水の水質調	査を行し	い、水資源に	こおける汚染	半状況を監 続	見する。	
(a) E	<u></u>			(2) 口無法						
(2)目的	עיז 			(3)目標値 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				河川水の環境基準達成率	<u>∓⊞</u> %	99	99	99	99	9
本事業に		が地下むの白も		地下水の環境基準達成率	%	100	100	100	100	10
よって成し 遂げたい	判川水及(心下水の民	好な水環境の保全を図る。	河川が保全されていると感じている市民の数	%	80.2	81.0	81.8	82.6	83.
状態)										
〔1)活動	動実績		(2)活動を説明する数値デ活動指標	単位	予美貨の R3	性移 R4	R5			
				河川水通常検査の対象件数	件	120	120	120		
	・市内11河川20地点で通常調査(3項目)を5月、7月、9月、		河川水精密検査の対象実施		50	50	50			
舌動実績 R5年度に		、3月に実施	精密調査(9項目)を7月、1月に実施	地下水調査の実施件数	件	41	41	41		
スター度に でた主な活動内容)				事業費計	千円	1,362	1,390	2,016		
±// 1	地下水水質・市内41か		:ける年1回の水質分析(13項目)を10	一般財源	千円	1,362	1,390	963		
	月に実施	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	W 0 1 W W W W W W W W W	特定財源(国·県·他)	千円			1,053		
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数		タの推移			↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
加果説明	河비ᆉᄍᄼ	がましょう	k環境及び水資源が保全されることにより、	河川水の環境基準達成率 地下水の環境基準達成率	件 %	96.0 100.0	96.2 99.8	94.5 100.0	値が大きいほど良い 値が大きいほど良い	効果が下が効果が上が
(定量及び		が過じかめ、カ 5環境が維持さ		地下小の現現基準達成率 河川が保全されていると感じている市民の数	% %	76.4	78.2	75.6	値が大きいほど良い	効果が下が
定性)	20,000	1 NC 2013 NED 33			70	70.1	70.2	73.0		7737100 1 70
	用対効果結り iとR4の一般	果(自動判定		× 1 0 下田IN Fの描述に FNVING				効果		1
			費用は下がった 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった		効果が下がった	
効果	効果は変わ	らない指標数	0指標]	費	費用は下がった			0	
ハル (R5とR4の		らた指標数	2指標			費用の増減無し				Ī

現状維持のため、特になし		

(2)	トシータよびが出頭を吹まった	令和6年度及び令和7年度の取	火口

事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

Hn 火F	ı≡ĸ	пΠ

T	
	*

作成・更新日 令和6年8月2日

事業名水道水未普及地域支援事業実施計画事業or一般事業実施計画事業 市長公約該当なし総合戦略該当なし施策横断的な取組との関連性SDGs該当ありコンパウトシティ該当なしスマートシティ該当なし

1. 基本情報

		部市民生活部			予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	環境政策課		水道水未普及地域支援事業費	予算	款	4	新規or継続	継続事業	
		係	環境係		小垣小木百灰地域又拔事来頁		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度	R2	実施方法	直営
EX.	IXXX ITVI	政策	1	環境にやさしいまちづくり		期間	終了年度	_	事業分類	支援事業
		施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

水道水未普及地域の住民に対し、飲用水等の給水施設の整備に対する補助金を交付する。

事業概要 【対象地域】市上水道給水区域以外の区域→下秋山町、上秋山町、大釜町

【補助率】 補助率:補助対象経費の合計額の3分の2 上限額:100万円

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		未普及世帯数	世帯	107	107	106	106	106
(本事業に	水道水未普及地域の住民に対し、給水施設の整備を促進し、衛	補助申請件数	件	1	4	5	5	5
よって成し 遂げたい	生的で安心安全な飲用水の安定的な確保を図る。							
状態)								
2.,				·				

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1 / / / / /)	35045		,,,,,	ナベデッ	H 17	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助申請件数	件	1	3	0
活動実績 (R5年度に	(補助対象経費の1/2から2/3)					
· 行った主な活 動内容)		事業費計	千円	904	253	0
#JJ 1 1 1 1 7 1		一般財源	千円	904	253	0
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
*********		未普及世帯数	件	107	107	106		
効果説明 /宝号です	良好な生活環境が維持され、衛生的で安全で安心できる飲用水	補助申請件数	件	1	3	0	値が大きいほど良い	効果が下がった
(定量及び 定性)	が安定的に確保される。							
X=111)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

	費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった	×10
効果		効果が上がった指標数	0指標	
		効果は変わらない指標数	0指標	
	(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標	
	指標值増減)	指標全体	効果が下がった	

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			0
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度に補助率をアップした。説明会を開催し、周知に努めたが、補助申請はなかった。また、少子高齢化が進む中で、補助対象世帯の減少が想定される。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(家正	休止	再編成	受益者負担の目直しかり)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

ᄪᅲᅂ	╕┋╩╏┞
HV	银光炉

令和5年度に補助率をアップしたため、当面、現行の内容とする。

事業名 生活環境保全事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

		部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	担当組織	課	環境政策課		生活環境保全事業	予算	款	4	新規or継続	継続事業	
		係	環境係		工心保况休土尹未	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
		体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業	
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	公害紛争処理法、栃木県生活環	公害紛争処理法、栃木県生活環	事業	開始年度	S56	実施方法	直営
	TYNK ITVIK	政策	1	未光に「こしいは フライラ	境の保全等に関する条例、佐野市	期間	終了年度	_	事業分類	その他市民に対する事業	
		施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全	きれいなまちづくり推進条例など						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

典型公害(水質汚濁、大気汚染、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下)の苦情に対する事業所等への指導と空き地苦情に対する管理者への指導等を 事業概要 実施する。

公害の騒音、振動及び悪臭に係る測定等を実施する。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に	生活環境(河川、空気、騒音、振動、臭気)が保全される。	住んでいる地域が快適で住みやすい と感じている市民の数	%	79.0	80.0	81.0	82.0	83.0
		河川(水路)が汚いと思っている市民	%	20.5	20.1	19.0	18.0	17.0
遂げたい		居住地域の生活環境が悪いと思っている市民	%	15.8	15.6	15.0	14.0	13.0
状態)								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(D E /= =================================	環境騒音の公害等苦情・公害や空き地等について苦情、相談を受けた場合は、現地確認空き地の苦等を行い、対応した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		環境騒音の測定	件	7	7	7
		公害等苦情の件数	件	97	82	74
		空き地の苦情件数	件	67	75	97
行った主な活動内容)		事業費計	千円	186	1,758	227
<i>±</i> 01° 3 ⊟ 7		一般財源	千円	186	1,758	227
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明 (定量及び	月 り 良好な生活環境が保全される。	住んでいる地域が快適で住みやすい と感じている市民の数	件	81.4	80.2	79.7	値が大きいほど良い	効果が下がった
		河川(水路)が汚いと思っている市民	%	20.5	20.1	21.7	値が小さいほど良い	効果が下がった
定性)		居住地域の生活環境が悪いと思っている市民	%	15.8	15.6	14.7	値が小さいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果(自動判定)

, - ,	a, 2,1,0,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,	
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
	効果が上がった指標数	1指標
(001010	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	2指標
指標值増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			С
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公害等苦情の件数は減少傾向にあり、公害関係法令による規制により、特定事業場における公害防止意識が向上し、規制基準は遵守されるようになってきたもの考えている。 -方で、空き地の苦情件数は増加傾向にある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止 休止	再編成	受益者負担の目首	(ソば、

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

空き地の適正管理について、引き続き周知啓発を図る。

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

仕事	士事の振り返りシート(令相5年度美施分) Refine Track Text 中間 5年度美施分) Refine Track Text Text Text Text Text Text Text Text									
事業名	専用水道			実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	•			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本作										
	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	環境政策課		専用水道等水道施設対策事業費	予算	款	4	新規or継続	継続	事業
	係	環境係		等用小 <u>但等小</u> 但爬設对來事業員	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	中事業
	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	義務的	り事業
エレクケ (上 デ	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度	H25	実施方法	直	営
政策体系	が生まれた。 1 1型性にわさいまたづか			水道法、栃木県小規模水道	期間	終了年度	1	事業分類	許認可·	審査事務
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全	-条例						
	2. 事業概要と目的及び (基本計画期間内) 目標値 (1) 事業概要 平成25年度からの権限移譲により、水道法に規定される専用水道及び簡易専用水道、並びに栃木県小規模水道条例に規定される小規模水道について、法令に基づく設計の確認、各種届出の受理、立入検査等を行う。									
		1 -> PERION EN	EMMOVICATION OF THE STATE OF TH							
(2)目的	勺			(3)目標値			_			
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				専用水道施設	施設	7	8	8	8	8
(本事業に	専用水道及	び小規模水	道の適正な布設及び管理、並びに簡易	小規模水道施設	施設	22	22	22	22	22
よって成し 遂げたい	専用水道旅	・設の適正な管	管理の推進	簡易専用水道施設	施設	194	194	194	194	194
状態)				給水停止命令件数	件	0	0	0	0	0
-DOW)				住んでいる地域が、快適で住みやすいで	件	79.0	80.0	81.0	82.0	83.0
_	あると思う市民 11 79.0 00.0 01.0 02.0 03.0									
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				各種届出の受理	件	3	4	3		
江私安徒				水道施設立入検査	件	8	11	9		
活動実績 (R5年度に	東届出 管	(専用水道2 理者届出等)	K道技術管理者変更届出、記載事項変 の受理	給水停止命令件数	件	0	0	0	1:	
行った主な活動内容)	・水道施設	9箇所への立	入検査の実施	事業費計	千円	2	0	2		
				一般財源	千円	2	0	2		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	動による効果			(4)事業効果を説明する数	値デー	タの推移			↓選択して	下さい
, , па	2.27321			効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
				専用水道施設	件	7	8	8		
効果説明				小規模水道施設	施設	22	22	22		
(定量及び	良好な生活	環境が維持な	さ れる。	簡易専用水道施設	施設	194	194	194		
定性)				給水停止命令件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
				住んでいる地域が、快適で住みやすいで	件	81.4	80.2	79 7	値が大きいほど良い	効果が下がった
				あると思う市民	- ' '	01.1	00.2	, , , ,		7,31140 1 70 214
(5)費月	用対効果結果	果(自動判定	<u> </u>	_						
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		0指標			1	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の		らない指標数 った指標数	1指標 15 1 15 1 15 1 15 1 15 1 15 1 15 1 1	-	費	費用は下がった				
指標值増減)	効果が下が	つに指信数 指標全体	1 <u>指標</u> 効果が下がった	1	用	費用の増減無し				
	度に向けた検 和 5 年度の事	請す	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用を	対効果[句上のための)課題			
給水停止命	命令に該当す	る事案がなく	適切に管理されている。							
(3) L=	ᄓᄃᄽᅩᄁᄼ	(三田旦古七 ロ水十二	5.1. 人们(左库亚拉人们)左库。李尔							
(2) 上言	近火自点及(/誄越を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
				17/144/0 /J						

作成・更新日 令和6年8月2日

 事業名
 土砂等の埋立て等対策事業
 実施計画事業or一般事業
 一般事業
 市長公約
 該当なし
 総合戦略
 該当なし

 施策横断的な取組との関連性
 SDGs
 該当なし
 コンパクトシティ
 該当なし
 スマートシティ
 該当なし

1. 基本情報

	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
担当組織	課	環境政策課		・土砂等の埋立て等対策事業費	予算	款	4	新規or継続	継続事業	
	係	環境係		11少寺の柱立し寺別界尹未貝	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業	
政策体	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	佐野市土砂等の埋立て等に	事業	開始年度	H12	実施方法	直営	
IXVR PT	政策	1	環境にやさしいまちづくり	よる土壌の汚染及び災害の	期間	終了年度	_	事業分類	許認可·審査事務	
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全	発生の防止に関する条例		-				

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 | 土

土砂等の埋立て等による土壌の汚染と崩落・流失等の災害を防止するため、実施しようとする者に対し、許可により規制を行う。 無許可等の不法行為により土砂等の埋立てを行う者に対し、監視・指導・処分を実施する

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
トって成し、		住んでいる地域が快適で住みやすい と思っている市民	%	79.0	80.0	81.0	82.0	83.0
	土砂等の埋立て等による、土壌の汚染を防止し、崩落・流失等の							
遂げたい	が							
状態)								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	・土砂等の埋立て等において、2件の許可を行った。 ・無許可の埋立て等の不法な行為について、定期的なパトロール、	許可件数	件	7	4	2
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						
行った主な活 定点観測、測量を実施し、定期的に指導動内容) ホームページにて、土地を提供する者に対		事業費計	千円	0	510	823
動い谷 ・ホームペーンに(、土地を提供する者に対		一般財源	千円	0	354	667
		特定財源(国·県·他)	千円		156	156
		(うち受益者負担)	千円		156	156

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		划未指 標	早111	K3	K4	K5	指標の性質	R4CR5の比較
効果説明		住んでいる地域が快適で住みやすい と思っている市民	件	81.4	80.2	79.7	値が大きいほど良い	効果が下がった
(定量及7月	上19号による注立しが過止に天肥C1に及灯は土冶場児が休土C							
定性)	れる。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した		
効果	効果が上がった指標数	0指標		
4	効果は変わらない指標数	0指標		
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標		
指標値増減)	指標全体	効果が下がった		

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			0

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

違法な盛土を行っている行為者に対し、継続して指導しているが、改善されていない。今後も県や警察等の関係機関と連携して、指導を継続する必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☑ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直	しなど)
--------------------------------	------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

令和7年4月1日より、県が主体となる「宅地造成及び特定盛土等規制法」(通称「盛土規制法」)の運用が開始されるため、県等と情報共有し、遺漏のないように対応する。